

やっぱり駄目だ

結局、なかなか、起き上がらず、朝が来た。
起床はそれでも、八時半。

いつもの二時起床とくらべれば、大差だ。

食後、すぐ、英会話タイプのテストドリルをする。
終わったのが十二時半。

期末試験で大部分、お留守していたので、
そのタイプを投函してから、
付属の英語の読本レッスンVIに取りかかった。

十三、四番ぐらい行ってやめた。

今度は、秋の弁論大会の原稿を書き出す。

長い一生を通じて、少なくとも一度は、誰でも、深く、
一人の、特定の人を尊敬する事があります。その尊敬さ
れる人がどんな人であるかを詳しく言い表して見ると、
まず、責任感の強い、真面目な、そして実行力のある人
で、かつ、悪い事に対しては非常に厳しく、正義感の強
い人などと、いろいろな言葉によって、その人を形容す
ることが出来ます。大人の世界では、その信頼と尊敬の
対象となるものは、常に実行力ある人格者です。しかし
子供の世界においては、子供に驚異と満足を与えるもの
なら、すべて、その信頼と尊敬の対象となり得ます。

ここまで書いて、はたと僕は行き詰まった。